

# 胃X線(バリウム)検査を受けるご予約の方へ

この検査にともなう危険性について

## 1. バリウム製剤による過敏症(アレルギー)・ショックの報告があります

頻度はまれですが、重篤なアレルギー症状(アナフィラキシーショック)を起こすことがあります。過去にバリウム検査後にじんましんなどの症状が出たことがある場合は、安全のため検査をお断りさせていただきます。また、これまでは問題がなくても今後過敏症を生じる可能性はどなたにもあり、検査後にじんましん・息苦しさなどの症状が現れた場合は早急な受診が必要となります。

## 2. 腸閉塞消化管穿孔(腸に穴があく)・憩室炎・腹膜炎の報告があります

便通異常や腸の疾患があると疑われる場合などに、安全のため検査をお断りさせていただきます。また、検査を受けた場合は検査後にお渡しする下剤を必ず服用し、水分を積極的に摂ってください。これまでに大腸などの憩室を指摘されている方で憩室炎の既往がない場合でも、バリウム検査がきっかけで憩室炎を起こす可能性があることをご承知おきください。

## 3. その他

血圧が上昇したり、発泡剤で気分が悪くなる場合があります。他にも、注意が必要なことがいろいろありますので、下に挙げる制限についてご理解願います。

◎次に該当する方は、この検査は受けられません。

- ・体重が120kg以上ある(撮影台に体重制限があるため)
- ・当日食事をしたり、朝7時以降に水を飲んだ
- ・妊娠中、または妊娠の可能性がある
- ・認知症などで諸注意事項が理解困難である
- ・過去にバリウムを使った検査でアレルギー症状(じんましん、喉が詰まる、息苦しいなど)があった
- ・腸閉塞になったことがある
- ・腎臓病(人工透析)、心疾患などで水分制限がある
- ・過去2ヶ月以内に大腸ポリープを切除した
- ・過去1年以内に心筋梗塞や脳梗塞脳出血を起こした
- ・握力の低下や運動機能に障害があり、検査台から転落する危険性がある

◎次に該当する方はこの検査をお断りすることがあります。

- ・当日血圧が高い(目安として180/110以上)  
(高血圧症治療中で「朝食後」の服薬指示の薬は、当日朝6時頃までに飲んでください)
- ・当日の体調が悪い(咳、めまい、腹痛など)
- ・日常生活でむせることが多い
- ・便秘がひどい
- ・喘息、心臓・脳神経疾患、胃腸疾患で通院中で今回検査の実施について主治医の許可がない
- ・過去1年以内に開腹手術や整形外科の手術を受けた